

反応拡散方程式と非線形分散型方程式の解の挙動

OCAMI 共同研究 (B)

大阪市立大学数学研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように共同研究を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

研究代表者 北 直泰 (熊本大学大学院先端科学研究部)

副代表者 辻川 亨 (宮崎大学工学教育研究部)

記

日時：2020年2月19日(水) 14:00 - 2月21日(金) 12:00

場所：大阪府大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 杉本キャンパス 理学部 E 棟 数学大講究室 E408

プログラム

2月19日(水)

14:00-14:50 川上 翔汰 (埼玉大)

一般次元の非線形 Schrödinger 方程式における小さな初期値の有限時間爆発解

15:00-15:50 桑村 雅隆 (神戸大)

保存量をもつ反応拡散系における特異摂動の例について

16:00-16:50 八木 厚志 (大阪大)

Keller-Segel 方程式の解の漸近収束について

2月20日(木)

10:00-10:50 池田 幸太 (明治大)

樟脳船の渋滞現象に対する中心多様体縮約理論の構築と適用

11:00-11:50 和田 健志 (島根大)

Maxwell-Schrödinger 方程式の散乱理論について

お昼休み

14:00–14:50 岡部 真也 (東北大)

Relaxation to equilibrium in a Cahn-Hilliard system

15:00–15:50 大下 承民 (岡山大)

3成分反応拡散系の特異極限問題

16:00–16:50 四ツ谷 晶二 (龍谷大)

非局所アレン・カーン・南雲方程式の定常解の構造と関連する話題

18:00–20:00 懇親会

2月21日(金)

10:00–10:50 藤江健太郎 (東北大)

Comparison methods for a kinetic model of pattern formation
with density-suppressed motilities

11:00–11:50 瀬片 純市 (九州大)

On 1d nonlinear Schrödinger equation with an attractive delta potential

本共同研究は、文部科学省共同利用・共同研究拠点

「数学・理論物理の協働・共創による新たな国際的研究・教育拠点」

の援助を受けて開催されます。